


# 卒業生・在校生の声 ～寮生活は、人生のかけがえのない財産になる～

**1** 男子校  
函館ラ・サール中学校・高等学校



## 大部屋寮で学んだこと

本城 慎之介さん (1991年度卒業・楽天創業者の一人で元副社長)

我が母校の寮は大部屋。初めて門をくぐったのは入学式前日。独特の臭いがする男子ばかりの100人部屋。親と離れる寂しさよりも、こんなところで暮らせるか!という怒りの方が勝っていた。「友達は全国にいたほうが絶対いい。一生の宝になる。」と言う父が勝手に入学手続きをし、地元高校への入学を辞退してしまったのだ…。あの大部屋を事前に見学して「ここで生活したい!」と思う10代男子は、この世の中にほとんどいないだろう。しかし、「100人部屋の1年が最高だった!」と言う函館ラ・サール卒業のオジサンたちは全国各地にたくさんいる。大部屋では「世の中は多様なんだ、色々な人がいるんだ」ということを実感させられたと同時に、あらゆるモノを皆で共有していた。モノだけではない。時間、空間、仲間、全てがそうだ。自分だけよければいいというのは一切通用しない。全ては自分一人で所有しているのではなく、皆で共有しているものを一時的に使わせてもらっているのだ。そんな謙虚な気持ちを育んでくれたのも、大部屋寮での生活があったからだ。個が大切にされる今、「大部屋の寮」は時代遅れなのかもしれない。だが、時代遅れだからこそ、どんな時代でも大切なことを学べるのだ。

**2** 男子校  
静岡聖光学院中学校・高等学校



**3** 女子校  
盛岡白百合学園中学高等学校



**4** 女子校  
不二聖心女子学院中学校・高等学校



## 寄宿舎生活での学び


前田 璃香さん (高校3年 学年委員)

私が寄宿舎生活で特に成長したと思う点は、自立心と責任感です。自分の身の回りのことは自分でしなければならぬという状況に置かれることで、自然と私の中で自立心が芽生えていきました。寄宿生は全員が一人一つ以上、何らかの係に所属します。私の場合、学年委員という係に所属しており、学年での話し合いをリードし、より良い学年のあり方を考える中で責任感が育ちました。寄宿舎では、様々なイベントを生徒主体で企画し開催します。仲間とぶつかることもあります。それを乗り越えたからこそ素晴らしいものが出来上がったと毎回感じています。寄宿舎生活を始める前は、すべて親に「察してもらおう」というのが私にとっての当たり前でしたが、寄宿舎での生活を通して、「皆が常に私のことを気にしてくれているわけではない」「自分の言葉にしなないと通じない」と身を持って痛感し、自分の思い、考えをしっかりと言葉にして伝えられるようになりました。

**5** 女子校  
函嶺白百合学園中学高等学校



**6** 共学校  
自由学園中等科・高等科



**7** 共学校  
立命館慶祥中学校・高等学校



## 多様な仲間とともに学べる環境。


梅本 周さん (2023年3月卒業 大阪大学理学部1年生 元(在任当時)寮生会長)

寮では世界中から集まったから仲間から世界各地の文化やルール、街の様子など聞くことができたのが面白かったです。初めてできた友人は台湾から入寮した子でした。学習面では、「一斉学習時間」があったので、どんなに疲れていても勉強モードに入ることができました。学習習慣をつくることのできる環境があったことが良かったです。そして大学受験に向けて、寮生皆でお互いに刺激しあいながら頑張ることができました。


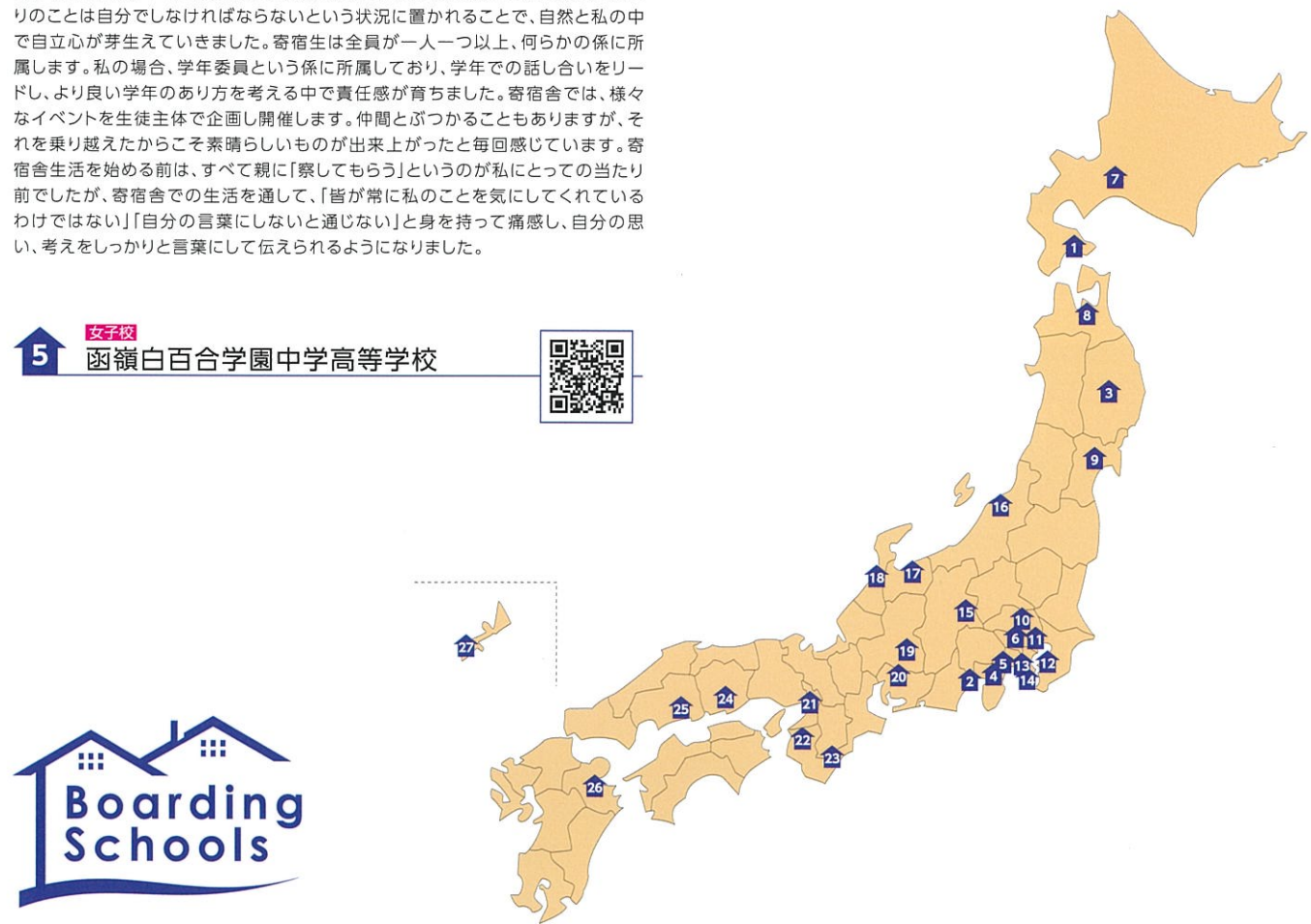
**8** 共学校  
松風塾高等学校




**9** 共学校  
秀光中学校・仙台育英学園高等学校 (秀光コース)



**10** 共学校  
秀明学園秀明中学校・高等学校


**11** 共学校  
郁文館中学校・高等学校・グローバル高等学校




**12** 共学校  
暁星国際中学校・高等学校




**13** 共学校  
公文国際学園中等部・高等部



**14** 共学校  
関東学院六浦中学校・高等学校



**15** 共学校  
佐久長聖中学・高等学校



**16** 共学校  
開志国際高等学校



**17** 共学校  
片山学園中学校・高等学校



**18** 共学校  
国際高等専門学校



**19** 共学校  
麗澤瑞浪中学・高等学校



## 「わざわざ」が大人になるための大切な歩み

斎藤 芹奈さん (高校3年生 寮長)

高3になり、寮長として中学1年生を寮に迎えました。この間までランドセルを背負っていた新入生。緊張しながらスタートした寮生活。中にはホームシックになってしまう子もいます。そのとき私は、ちょっと部屋を覗きに行ってみようかな…、それとも洗面所で歯みがきをするとき、「今日、学校どうだった?」と聞こうかなと、あれこれ葛藤します。様子が気になる子には、できるだけ声をかけに行きます。別にしなくてもいいのだけど、わざわざ顔を見に行き、相手への思いを言葉にしてみる。その「わざわざ」が、大人になるための練習なのかなって、ちょっぴり嬉しく思う自分もいます。もともとは挨拶するのも精一杯で、人見知りだった私。寮生活では人との関わりは避けられません。わざわざ言葉にしなければいけない場面がたくさんあります。今はまだ大変だけれど、いつかきっと「ここでの日々が、私を大人にしてくれた」と振り返る日がくると信じています。

**20** 共学校  
国際高等学校



**21** 共学校  
早稲田摂陵高等学校



**22** 共学校  
高野山高等学校




## 寮生活は社会生活のための予習!!


越智 春名さん (特別進学コース二年)

私は高野山高校の普通科特別進学コースの所属する越智春名です。まず、私が高野山高校に進学した理由はとにかく寮生活を送ることによって、高校生のうちにできるだけ自立した生活を送りたかったからです。実際に高野山での寮生活も2年目に入りますが、自分の身の回りのことは自分でできるようになりました。また、家族以外の人たちと日常生活を送ることによって他人を許容できるようになりました。高野山の街中で外国人に質問された時はさりげなく接することができます。アメリカに留学した時もホストファミリーの皆さんとすぐに打ち解ける事ができました。高野山高校での寮生活は視野を広めます。実社会へ出た時の準備を3年間ゆっくり学べます。


**23** 共学校  
近畿大学附属新宮高等学校・中学校



**24** 共学校  
岡山中学校・高等学校



**25** 共学校  
如水館中学校・高等学校



**26** 共学校  
岩田中学校・高等学校



**27** 共学校  
沖縄尚学高等学校・附属中学校



## 「対話」を通して多様性を学んだ寮生活

伊敷 美旅さん (2020年度卒業・ICU国際基督教大学3年)

私は中高の6年間で尚学グローバル寮で過ごし、「対話」の重要性を学びました。普段関わりがない先生方と話したり、学年を超えた交流をする中で、互いを尊重し合うことは想像以上に難しかったです。しかし同時に、常に新たな刺激で満ち、視野を広げることができました。また、寮に住む友人とは特に近い距離で楽しく勉強でき、学業に関する不安な気持ちもほぐれていきました。これらの経験を糧に大学での学びを深めていきたいと思っています。